

H30年4月の「横浜市学校防災計画」の改定を受け、「東海地震」に関する記載を変更し、「Jアラート発信時の対応」に関する記載を追加しました。

横浜市立上菅田中学校 校長 関 恭雄

気象警報・降灰予報発表時および大規模地震発生・弾道ミサイル発射によるJアラート発信時の対応

状況	登校前	登校後
「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪）」「降灰予報」のいずれか1つでも「神奈川県全域」または「神奈川県東部」または「横浜・川崎」に対して発表された場合	午前7時の時点で発表継続中の場合は、 全市一斉休校 となります。 ※「降灰予報」の場合、火山灰の降灰が継続している間は休校となります。 ※学校からの連絡はありません。各家庭でテレビ、インターネット等を利用して気象庁の情報を確認してください。	学校や地域の状況に応じて生徒の安全確保を最優先とした判断を行います。（通常授業の継続、下校時間の変更、地域別集団下校、学校留め置き、保護者への引き渡し等状況に応じて判断） ※必要に応じて「上菅田中学校ホームページ」や「メール配信」で保護者へお知らせします。
暴風警報を伴わない「大雨警報」「洪水警報」および各種注意報（大雨注意報、強風注意報等）が発表された場合	原則として 通常通りの登校 です。 ※安全確保のため保護者の判断で登校時間を遅らせる場合や欠席する場合は学校へ連絡をしてください。その場合は、遅刻、欠席の扱いとはなりません。	原則として 通常通りの授業を継続 します。 ※学校や地域の状況によっては、生徒の安全確保のため下校時間の変更等の措置をとる場合もあります。
① 横浜市内のいずれかで 震度5強以上の地震 が発生した場合 ◆気象庁は東海地震の「注意情報」「警戒宣言」の発表を行わないこととしました。	① 横浜市内のいずれかで 震度5強以上の地震 が発生した場合は、 地震発生の当日および翌日は全市一斉休校 となります。 ※学校からの連絡はありません。各家庭でテレビ、インターネット等を利用して気象庁の情報を確認してください。 ◆東海地震の注意情報・警戒宣言に代わる「南海トラフ地震に関する情報」の発表による、自動的「全市一斉休校」はありません。	原則、授業は打ち切り、生徒は 学校へ留め置きます 。発災・発令後の学校や地域の状況および関連情報を把握し、生徒の生存と安全を最優先とした判断を行います。 <u>（学校留め置き～保護者への引き渡しが大原則です。</u> 状況に応じて地域別集団下校、防災拠点である上菅田小学校、笹山小学校、西谷中学校への二次避難等を検討します。）※必要に応じて「上菅田中学校ホームページ」「メール配信」で避難状況の掲載を試みます。通信状況等により情報が得られない場合は、 上菅田中学校、自宅または防災拠点校（上菅田小学校、笹山小学校、西谷中学校等）のいずれかで安否確認と生徒との合流を試みて ください。

裏面に「弾道ミサイル発射によるJアラート発信時の対応」を記載しています。

弾道ミサイル発射によるJアラート発信時の対応

状況	登校前	登校後
<p>弾道ミサイル発射により神奈川県内にJアラートが発信された場合</p>	<p>自宅待機とします。 その後、上空通過や領海外に落下した場合は教育活動を再開します。交通機関の停止・遅延による臨時休業・始業繰り下げ等については「メール配信」で連絡します。 横浜市内に落下した場合は、原則として臨時休業とします。</p>	<p>◇発射情報が発信された場合 速やかに避難行動をとります。(建物内で、窓から離れ、頭部を守ります)</p> <p>◇上空通過または領海外に落下した場合 情報を確認後、教育活動を再開します。</p> <p>◇領土・領海内に落下した場合 ○Jアラート続報で落下地域を確認し、引き続き安全確保を行います。 ○行政からの指示があれば、それに従って落ち着いて行動します。 ○原則、生徒を学校で保護し、「メール配信」により安否情報を保護者に連絡します。</p>

表面に「気象警報・降灰予報発表時および大規模地震発生時」の対応を記載しています。